

(提供書面)

## 事業報告

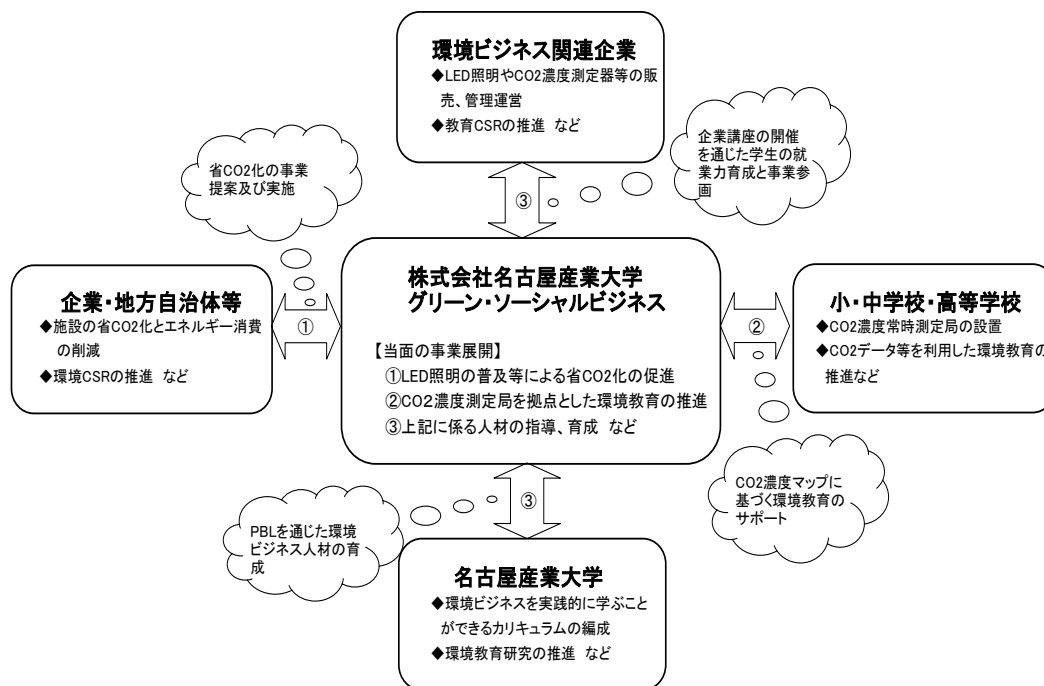
〔平成23年 3月28日から  
平成23年 12月31日まで〕

### 1 企業の現況

#### (1) 当事業年度の事業の現況

当社は、平成23年3月28日、大学生が環境ビジネスを実践的に学び、低炭素社会の実現に貢献する場として、名古屋産業大学尾張旭キャンパス内に設立されました。当社設立は、名古屋産業大学の「共有課程」の一環となるもので、環境ビジネス関連企業との連携のもとに、大学生が中心となって会社を運営し、CO<sub>2</sub>をテーマとしたソーシャル・ビジネス（社会的事業）を展開するとともに、環境ビジネスを担う人材の育成を行うことを目的としています。

平成23年5月13日には、外国特派員協会において会社設立の記者会見を行うとともに、同月17日には名古屋産業大学文化センターで会社設立記念フォーラムを開催し、以下の事業スキームに基づく事業活動をスタートさせました。当事業年度の事業の現況は、以下のとおりです。



#### ■事業スキーム

##### ① 会社設立記念フォーラムの開催

当社の事業活動に係るキックオフプログラムとして、尾張旭市長、尾張旭市商工会会



長を来賓に迎え、名古屋産業大学の学生、教職員など 130 名の参加のもとに会社設立記念フォーラムを開催しました。

・平成 23 年 5 月 17 日 13 : 00～16 : 10（名古屋産業大学文化センター）

◇来賓挨拶

谷口幸治氏（尾張旭市長）

服部 勝氏（尾張旭市商工会会長）

◇会社の設立趣旨と事業概要

伊藤雅一代表取締役（名古屋産業大学学長）

◇記念講演

講師：日比谷平四郎監査役（㈱東横イン前取締役会会長、一般社団法人日本  
CO2 濃度マップ普及協会代表理事）

演題：㈱名古屋産業大学グリーン・ソーシャルビジネスへの期待

◇参加者 130 名

## ② 企業講座の開催

大学生が環境ビジネスを実践的に学ぶ場として、名古屋産業大学と連携し、企業経営者等を招いた企業講座を以下のとおり開催しました。なお、この講座は、名古屋産業大学の専門ゼミナール共通プログラムとして実施し、参加登録した学生は 101 名でした。

・平成 23 年 6 月

◇第 1 回企業講座

講師：岩橋 孝氏（ミネルヴァ・コンサルティング㈱代表取締役）

演題：LED 照明と ESCO 事業

・平成 23 年 7 月

◇第 2 回企業講座

講師：山内みのり氏（㈱シャルレライテック公共自治体営業部長）

演題：LED 照明の運用コストと節電効果

・平成 23 年 10 月

◇第 3 回企業講座

講師：望月圭一郎氏（㈱ラックランド代表取締役社長）

演題：施設の省 CO2 化と商空間

・平成 23 年 12 月

◇第 4 回企業講座

講師：中嶋紀夫氏（㈱ユードム常務取締役・環境システム事業部長）

演題：CO<sub>2</sub> 濃度測定器の開発と環境教育への応用

また、企業講座で得た実務知識を活かし、平成 23 年 8 月から 9 月にかけて、希望する学生 17 名を対象に、名古屋産業大学尾張旭キャンパスの LED 照明化をテーマとした実

践型学習を推進し、その成果については、同年 11 月、名古屋産業大学 3 号館において学生による公開プレゼンテーションを行いました。

### ③ LED 照明導入提案活動の推進

企業講座で得た実務知識等を活かし、環境ビジネス関連企業との連携のもとに、LED 照明導入の提案活動を行いました。平成 23 年 8 月には、株式会社津センターパレス（本社：三重県津市）との間で、LED 照明導入とその収益を活かした環境貢献に関する覚書を締結しました。平成 23 年 12 月末現在、6 法人に対して提案活動を推進しています。この提案に当たっては、当社の環境ソーシャルビジネスを「ECO<sup>2</sup>サポート」として商品化し、省 CO<sub>2</sub> 効果が高い LED 照明を導入した企業等が、CO<sub>2</sub> をテーマとした環境教育の普及やグリーンコンシューマの拡大に自動的に貢献できる点を積極的にアピールしています。

また、学生による事業活動を支援するため、ミネルヴァ・コンサルティング(株)、(株)シャルレライテック、(株)ラックランド、シャープエレクトロニクスマーケティング(株)、(株)ユーダムがご参画いただいています。

### ④ CO<sub>2</sub> 濃度測定局を拠点とした環境教育の推進

株式会社津センターパレスとの覚書締結に基づき、LED 照明の工事施工（(株)ラックランドが施工）に伴う収益を活用した環境貢献の一環として、平成 23 年 10 月に、環境教育の拠点となる CO<sub>2</sub> 濃度測定局を津センターパレスビル 1 階エレベータホールに設置しました。

この測定局は、津センターパレスビル前の国道 23 号歩道アーケード上部に設置した CO<sub>2</sub> 濃度測定器で CO<sub>2</sub> 濃度データをモニタリングするもので、エレベータホールの液晶ディスプレイを通じてデータ表示を行っています。津センターパレスビル前のバスターミナルを利用する小学生等が定期的にデータを確認するなど、環境教育の場として役立っています。



■ CO<sub>2</sub> 濃度測定局に設置した機器



#### ⑤ 公式ホームページの開設

平成 23 年 8 月に当社の公式ホームページを開設しました。このホームページは、学生による会社運営の一環として、学生の手作りによって製作、運営を行っています。

#### ⑥ パブリシティ活動の推進

事業活動に当たっては、メディアへのパブリシティ活動を積極的に推進し、以下の新聞をはじめ、多数のインターネットメディアに掲載されました。

- ・平成 23 年.5 月 14 日（土）
  - ◇中部経済新聞朝刊 15 面  
学生主体の会社設立 名産大 環境ビジネス展開
- ・平成 23 年.5 月 15 日（日）
  - ◇中日新聞朝刊 25 面  
CO<sub>2</sub>削減へ会社を設立 名古屋産業大学 濃度測定器など販売
- ・平成 23 年.5 月 17 日（火）
  - ◇日刊工業新聞朝刊 19 面  
名古屋産業大 大学発の環境 VB 設立 CO<sub>2</sub>濃度測定器など販売
  - ◇中国新聞夕刊 6 面  
環境ビジネス学生主体 名古屋産業大が会社設立
- ・平成 23 年.5 月 18 日（水）
  - ◇読売新聞朝刊 27 面  
名産大 低炭素社会実現へ会社 社長に学長、学生が実務
  - ◇中日新聞朝刊 16 面  
株式会社で記念フォーラム 名古屋産業大
  - ◇中部経済新聞朝刊 6 面  
名産大が GSB 設立 企業や行政向け LED 照明提案 代表取締役伊藤学長
  - ◇環境新聞 3 面  
環境人材育成へ法人 名産大設立 省 CO<sub>2</sub>支援を事業化
- ・平成 23 年.5 月 23 日（月）
  - ◇全私学新聞 4 面  
名古屋産業大学 学生が運営する環境ビジネス会社を設立 社会貢献と産学連携推進へ
  - ◇教育新聞 4 面  
環境分野で就業力育成 名産大が株式会社設立
- ・平成 23 年.5 月 25 日（木）
  - ◇東京新聞朝刊 25 面  
名古屋産業大 CO<sub>2</sub>削減柱に株式会社設立



- ・平成 23 年.6 月 20 日 (水)
  - ◇フジサンケイビジネスアイ 11 面  
「環境 SB」担い手の育成活発化 名産大 学生が事業参加、実務習得
- ・平成 23 年.7 月 12 日 (火)
  - ◇中日新聞朝刊 12 面  
名古屋産業大 学内に株式会社 営業や経営学べる場に 環境ビジネスを展開
- ・平成 23 年.8 月 26 日 (金)
  - ◇中日新聞朝刊 14 面  
津の 3 セクと名産大の会社 環境事業でスクラム 覚書交わす
  - ◇伊勢新聞朝刊 8 面  
津センパレで環境教育へ 名産大 GSB CO<sub>2</sub>測定局開設し研究
  - ◇朝日新聞朝刊 13 面  
津センターパレスと名産大 環境事業で提携
  - ◇毎日新聞朝刊 20 面  
学生の企業「名産大 GSB」がテナントビル LED 化
- ・平成 23 年 8 月 27 日 (土)
  - ◇読売新聞朝刊 26 面  
環境ビジネスの人材育成推進へ覚書調印 津センターパレス
- ・平成 23 年.10 月 4 日 (火)
  - ◇中日新聞朝刊 14 面  
CO<sub>2</sub>濃度 実感を パレスビル測定器設置 入り口にモニターも
  - ◇中部経済新聞 8 面  
CO<sub>2</sub>測定・表示装置を設置 津センターパレス ビル施設で運用開始 名産大 GSB と連携 エコロジー意識啓発へ

## ⑦ その他

(無就活の仕組みづくり)

当社では、名古屋産業大学や環境ビジネス関連企業と連携し、大学のキャリア教育と企業の新入社員教育とが融合した新たな人材育成システムとして、「無就活」の仕組みづくりに取り組んでいます。

また、参画企業の拡大に向けて、平成 23 年 11 月には、シャープエレクトロニクスマーケティング(株)主催のエコ・ソリューションフェアにおいて、LED 照明等の環境商材を取り扱う企業等約 80 社を対象に、伊藤代表取締役が「環境商材のビジネスプロモーションと市場開拓～大学発！環境ソーシャルビジネスの事業戦略」をテーマに基調講演を行いました。

なお、「無就活」の仕組みづくりについては、「自動就活システム」としてビジネス



モデル特許申請中です。

(育達商業科技大学との連携)

伊藤代表取締役が、名古屋産業大学学長として、台湾で開催された国際会議「2011 International Conference on Eco Life and Industrial Sustainable Development」に参加し、「環境ビジネス人材の育成とキャリアガイダンス」をテーマに招待講演を行いました。その際、名古屋産業大学と交流協定を結ぶ台湾・育達商業科技大学から、当社の台湾での事業展開について連携の申し出があり、会社設立の在り方や環境教育テキスト『みんなで作る CO<sub>2</sub> 濃度マップ』の中国語翻訳等について協議を進めています。なお、同大学は、平成 23 年 12 月に CO<sub>2</sub> 濃度測定局を開設済みとなっています。

## (2) 対処すべき課題

当事業年度においては、大学生が環境ソーシャルビジネスを展開するための教育システムの整備、当社の環境ソーシャルビジネスを社会的に周知するためのパブリシティ活動の推進、さらにはモデル事例（津センターパレス）の具体化を重視した活動を推進しました。今後は、大学生を対象とした教育システムの充実を図るとともに、社会人の人材育成にも積極的に取り組んでいきます。

企業等への事業提案活動については、現在のところ、大学生が参画するうえでカリキュラム上の時間的制約が大きい状況にあります。名古屋産業大学では、平成 24 年 4 月にスタートする新カリキュラムの 3 年次において、当社でのインターンシッププログラムが位置づけられており、大学生の事業参画は平成 26 年度から本格化する予定です。このため、今後は、事業提案活動に参画する大学生の増加を促すとともに、大学生の活動を支援する経営体制の強化、連携する環境ビジネス関連企業の拡大など、学生を中心とした事業提案活動の体制づくりに取り組めます。また、当社の教育システムに海外の大学から高い関心が寄せられていることを踏まえ、今後は、アジアを中心とする海外事業展開の可能性を追求し、その具体化に向けた取り組みを進めていきます。

事業提案活動に伴う収益については、引き続き CO<sub>2</sub> 濃度測定局の拡大と、ここを拠点とした環境教育の普及、拡大に取り組めます。

以上から、第 2 期事業年度（平成 24 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日まで）においては、次の事業計画に沿った取り組みを推進します。

### ① 事業計画

#### i) 国内事業活動の推進

名古屋産業大学と連携した環境ビジネス講座（現在の企業講座を産学連携による講座とするため改称）を定期的で開催し、そこで得た実務知識等を活かして、LED 照明導入



の提案活動を展開します。事業提案件数については、第 1 期事業年度の成果を踏まえ、年間 7 件から 20 件程度への拡大を目指します。その際、連携する環境ビジネス関連企業については、現在の 5 社から 10 社程度への拡大を目指します。なお、連携企業とは、無就活の仕組みづくりに向けて、当社での活動評価等を条件とした推薦採用枠の創設などについて協議し、その具体化を図ります。

また、津センターパレスビル（三重県津市）に、2012 年 4 月より産学連携等の相談窓口となる三重サテライトオフィスを開設するとともに、ここを拠点として、企業向けの環境ビジネスセミナーを開催するなど、東海 3 県を中心とした業務拡大に取り組みます。

#### ii) 海外事業活動の展開

名古屋産業大学と交流協定を結ぶ台湾・育達商業科技大学との間で、台湾での事業展開の具体化に取り組み、平成 24 年中を目途に台湾サテライトオフィス（又は現地法人の設立）の開設を目指します。

また、CO<sub>2</sub> 濃度測定局の開設に関心を示している中国・江蘇大学との間においては、平成 24 年 6 月を目途に CO<sub>2</sub> 濃度測定局の開設や環境教育の普及を支援するなど、東アジアを中心に、当社が推進する環境ソーシャルビジネスの導入、普及に取り組みます。

さらに、海外事業活動の効果的な展開に向けて、当社の会社概要や環境教育テキスト『みんなで作る CO<sub>2</sub> 濃度マップ』の中国語翻訳とその成果の出版等に取り組みます。

#### iii) CO<sub>2</sub> 濃度測定局を拠点とした環境教育の普及

LED 照明導入の提案活動に伴う収益を活かし、一般社団法人日本 CO<sub>2</sub> 濃度マップ普及協会との連携も図りながら、CO<sub>2</sub> 濃度測定局を拠点とした環境教育の普及に取り組みます。

また、CO<sub>2</sub> 濃度測定局の増設に向けて、環境商材の売り上げの一部やポイントを環境教育の普及や緑化支援等に還元するグリーンキャンペーンプログラムの開発と、環境商材を取り扱う企業への提案活動を推進します。

#### iv) 環境ビジネス人材の育成

上記 i) から iii) の活動を通じて、名古屋産業大学の学生を対象に環境ビジネスを担う人材の育成に取り組みます。特に、環境ビジネス講座については、LED 照明導入に対する客観的な評価、提案が求められている点等を考慮した教育プログラムを開発、推進します。その際、自然エネルギー分野の業務拡大を図るため、名古屋産業大学尾張旭キャンパス等に設置する太陽光発電施設、風力発電施設等を活用した実践型学習の導入にも取り組みます。

また、環境ビジネス講座の教育成果の社会的還元を図るため、企業向けの環境ビジネスセミナーを開催するなど、社会人を対象とした人材育成に取り組みます。



#### v) 経営体制の強化

事業計画を効果的に推進に向けては、学生リーダーとなる人材確保はもとより、国内外の事業活動や環境教育を支援する体制が不可欠となるため、平成24年4月より取締役を増員し、経営体制の強化を図ります。

#### ② 事業スケジュール

LED照明導入提案活動など国内事業活動と、その収益を活用した環境教育の普及活動の継続的な推進を図るとともに、海外事業活動、環境ビジネス人材育成活動などについては、概ね以下のスケジュールのもとに推進します。

平成24年1月 第5回企業講座の開催（名古屋産業大学）

2月 環境ビジネスセミナーの開催（津センターパレス）

3月 取締役会、株主総会

4月 三重サテライトオフィスの開設（津センターパレス）

5月 第1回環境ビジネス講座の開催（名古屋産業大学）

6月 第2回環境ビジネス講座の開催（名古屋産業大学）

中国・江蘇大学にCO<sub>2</sub>濃度測定局を開設、会社概要（中国語版）の作成

7月 第3回環境ビジネス講座の開催（名古屋産業大学）

8月 環境ビジネスインターンシップの開催（尾張旭市等の企業）

環境ビジネスセミナーの開催（津センターパレス等）

9月 名古屋産業大学と連携したPBL型実践型学習の推進（名古屋産業大学）

10月 第4回環境ビジネス講座の開催（名古屋産業大学）

11月 第5回環境ビジネス講座の開催（名古屋産業大学）

12月 第6回環境ビジネス講座の開催（名古屋産業大学）

台湾サテライトオフィス（又は現地法人の設立）の開設

環境教育テキスト（中国語版）の出版





**(3) 主要な事業内容（平成 23 年 12 月 31 日現在）**

- ① 自然環境における二酸化炭素等の濃度の測定等、環境の改善に関する調査、研究事業
- ② 自然環境における二酸化炭素等の濃度の測定器等、環境の改善、保全に関わる機器の販売、設置事業
- ③ 自然環境における二酸化炭素等の濃度の研究等、環境の改善に関する人材の指導、育成事業
- ④ その他の事業

**(4) 本社及び主要な営業所**

本社 愛知県尾張旭市新居町山の田 3255-5

**(5) 従業員の状況**

従業員数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続年数
0 名	-	-	-

**2 会社の現況**

**(1) 株式の状況（平成 23 年 12 月 31 日）**

- ① 発行可能株式総数 400 株
- ② 発行済株式の数 100 株
- ③ 株主数 3 名

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
日比谷 平四郎	40 株	40.00%
伊藤 雅一	30 株	30.00%
増田 博美	30 株	30.00%

**(2) 会社役員の詳細**

- ① 取締役及び監査役の状況（平成 23 年 12 月 31 日）

会社における地位	氏名	担当
代表取締役	伊藤 雅一	
取締役	増田 博美	
取締役	高木 祥太	
監査役	日比谷 平四郎	



② 取締役及び監査役に支払った報酬等の総額

区分	支給人員	報酬等支給額
取締役	0名	0円
監査役	0名	0円
合計	0名	0円